

後援

 中小企業庁	 国立研究開発法人 科学技術振興機構	 国立研究開発法人 産業技術総合研究所	 国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構	 独立行政法人情報処理推進機構
 日本政策金融公庫	 日本政策投資銀行	 株式会社商工組合中央金庫	 日本商工会議所	 全国商工会連合会
 全国中小企業団体中央会	 一般財団法人 ベンチャーエンタープライズセンター	 公益社団法人 日本ニュービジネス協議会連合会	 全国イノベーション推進機関 ネットワーク	 福岡市
 NPO法人ETIC.	 全国地方新聞社連合会	 日本経済新聞社	 日本ベンチャー学会	 一般社団法人 日本ベンチャーキャピタル協会
 オープンイノベーション・ ベンチャー創造協議会				

協力

 EY新日本有限責任監査法人	 あずさ監査法人 有限責任あずさ監査法人	 DRIVE(運営:NPO法人ETIC.)	 INNOVATION LEADERS SUMMIT (運営:株式会社プロジェクトニッポン)	 日刊工業新聞社
 銀座セカンドライフ株式会社	 一般社団法人 日本スタートアップ支援協会	 月刊事業構想	 特定非営利活動法人 インデペンデンツクラブ	 JMA GARAGE (一般社団法人日本能率協会)
 イノベーションズアイ (運営:株式会社ノーズフー)				

タイアップ

 スタ★アトピッチJapan
--

第21回  
JAPAN  
VENTURE  
AWARDS

2021.12.17 Fri.

【開演】14:00～〈表彰プログラム 15:25～〉

【会場】虎ノ門ヒルズフォーラム 5F

表彰式レポート

# 世界に新たな火をともし 起業家、発表！

Japan Venture Awardsは、  
革新的かつ潜在成長力の高い事業や、  
社会的課題の解決に資する事業を行う、  
志の高いベンチャー企業の経営者を称える表彰制度です。  
2000年以来、313名のベンチャー経営者等が受賞し、  
それぞれの事業とともに  
日本を支えるリーダーへと成長を遂げています。  
次なる日本のリーダーとして果敢に挑戦する起業家を、  
ロールモデルとして広く紹介することで、  
創業機運を高め、日本における創業の促進を図ります。



▶ 応募対象

創業後概ね15年以内※1であり、高い志を持ち、自立する中小企業など※2の経営者又は代表者

※1 社歴に関わらず、経営の多角化や事業転換により、新事業展開した場合を含む。  
 ※2 企業を主な対象といたしますが、NPO法人、LLC(合同会社)などの応募も可能とします。

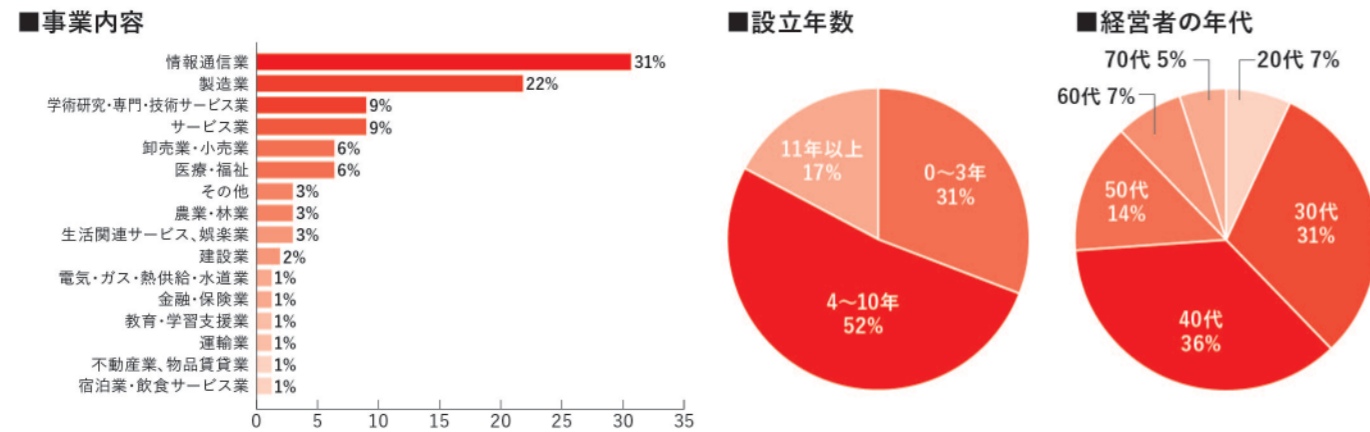
▶ 中小企業について

募集対象となる中小企業などは、下記のいずれかに該当する個人事業主、法人又はそれらによって構成される組織とし、活動主体が国内にあるものとなります。(中小企業基本法より)

- 製造業その他 …… 資本金3億円以下、又は常時使用する従業員が300人以下
- 卸売業 …… 資本金1億円以下、又は常時使用する従業員が100人以下
- 小売業 …… 資本金5千万円以下、又は常時使用する従業員が50人以下
- サービス業 …… 資本金5千万円以下、又は常時使用する従業員が100人以下

▶ 第21回JVA応募状況

創業間もないベンチャーから、第2創業に取り組む中小企業まで、幅広い業種・社歴の経営者から応募いただいています。年代層も20~70代まで幅広く、多様性に富んだベンチャー経営者の発掘につながっています。



▶ 審査基準

経営者の資質、成長性、革新性、社会性について審査します。

▶ 審査員

有識者で構成された第21回JVA審査委員会で審査します。

第21回JVA審査委員会(敬称略・順不同)

- 東出 浩教氏 早稲田大学大学院経営管理研究科(早稲田大学ビジネススクール)教授 / 日本ベンチャー学会 理事
- 小野 由理氏 株式会社三菱総合研究所 広報部長
- 高乗 正行氏 株式会社チップワンストップ 代表取締役社長
- 坂本 祥純氏 国立研究開発法人科学技術振興機構 産学共同開発部長
- 中野 慎三氏 一般社団法人日本ベンチャーキャピタル協会 会長
- 吉田 剛氏 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 イノベーション推進部長

ベンチャーキャピタリスト奨励賞

▶ 応募対象

現在、ベンチャー企業に対して支援を行っており、今後も継続して活動するベンチャーキャピタリスト(事業会社の投資担当者を含む。)

▶ 審査基準

これまでのベンチャー企業に対する支援活動内容・実績、イノベーションへの貢献度、社会への貢献度について審査します。

▶ 審査員(敬称略・順不同)

- 東出 浩教氏 早稲田大学大学院経営管理研究科(早稲田大学ビジネススクール)教授 / 日本ベンチャー学会 理事
- 赤浦 徹氏 一般社団法人日本ベンチャーキャピタル協会 会長
- 市川 隆治氏 一般財団法人ベンチャーエンタープライズセンター 理事長
- 高乗 正行氏 株式会社チップワンストップ 代表取締役社長

経済産業大臣賞

事業内容、活動実績、経営者の資質や社会的な評価(貢献度)などを総合的に評価の上、他の企業の模範として相応しい極めて優秀な経営者。

内閣府科学技術政策担当大臣賞

社会的な課題の解決に向けて、革新性に優れた科学技術等を基に、将来の社会や産業にイノベーションを起こす可能性を持つ、他の企業の模範として相応しい極めて優秀な経営者。

中小企業庁長官賞

事業内容、活動実績、経営者の資質などを総合的に評価して特に優秀な経営者。

中小機構理事長賞

優秀な事例のうち、公的支援策などを有効活用した模範的な事例となる経営者。

SDGs特別賞

優秀な事例のうち、特にSDGsに貢献する事業を行う模範的な事例となる経営者。

JVA審査委員会特別賞

上記以外で、事業その他の特徴と経営者を総合的に評価して、特別表彰を行う。

JVCA特別奨励賞

上記以外で、創業後5年以内の将来更なる活躍が期待される経営者。

ベンチャーキャピタリスト奨励賞

活動内容、活動実績、イノベーションへの貢献度、社会への貢献度を総合的に評価の上、今後の活躍が期待されるベンチャーキャピタリスト(事業会社の投資担当者を含む)。

会場案内図

虎ノ門ヒルズフォーラム 5F

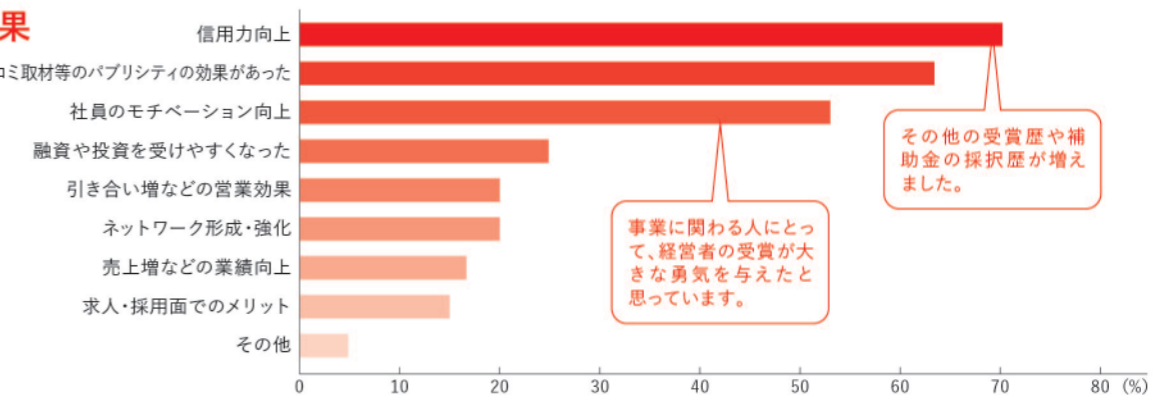


WEBでのライブ配信を実施しました。

実績データ

JVA受賞は、自社の取り組みを広くPRできる機会としても活かされています。受賞をきっかけにメディアに取り上げられるなどにより、販売先や支援先との新たなネットワーク形成にも繋がっています。また、受賞することで社員のモチベーション向上にも寄与しています。

▶ 受賞後の効果



※2016年3月 中小機構アンケート調べ

<p>14:00~14:05</p>	<p><b>開会挨拶</b></p> <p>JVAは今年度で21回目の開催となる。中小機構では、企業の成長の段階に合わせて様々な支援を用意している。それとともに、他の政府系機関と連携してベンチャー企業を支えていく体制も構築している。中小機構はベンチャー企業支援の老舗であると自負しているが、昔からの体制を維持するだけでなく、我々もベンチャー企業と同様に、その時々々の事業環境に合わせ柔軟に対応し、老舗であり続けるために努力をしていきたい。</p> <p>▶独立行政法人中小企業基盤整備機構 理事 <b>松浦 哲哉</b></p> 
<p>14:05~14:45</p>	<p><b>パネルディスカッション</b></p> <p><b>宇宙ビジネスが創生するイノベーションとSDGs</b></p> <p>JAXAとJAXAの宇宙イノベーションパートナーシップ(J-SPARC)に参画するベンチャー起業家が、宇宙ビジネスの現在地と未来の無限の可能性についてディスカッションを繰り広げました。</p> <p>▶JAXA 新事業促進部事業開発グループ 主査 <b>市川 千秋氏</b></p> <p>▶avatarin株式会社 代表取締役CEO <b>深堀 昂氏</b></p> <p>▶株式会社QPS研究所 代表取締役社長 <b>大西 俊輔氏</b></p> <p>モデレーター</p> <p>▶日本経済新聞社 総合解説センター 担当部長 <b>上田 敬氏</b></p> 
<p>14:45~15:25</p>	<p><b>VC×投資先ピッチ</b></p> <p><b>VCと起業家の連携で構築する地方経済のベンチャーエコシステム</b></p> <p>地方にこだわってビジネスを展開するVCと起業家が、それぞれの役割とパートナーシップについて熱いトークを繰り広げ、地方発だからこそアドバンテージを提示することができたプログラムとなりました。</p> <p>▶株式会社ドーガン・ベータ 代表取締役パートナー <b>林 龍平氏</b></p> <p>▶AGRIST株式会社 代表取締役 兼 最高経営責任者 <b>齋藤 潤一氏</b></p> <p>モデレーター</p> <p>▶一般社団法人日本ベンチャーキャピタル協会 名誉会長 <b>仮屋 蘭聡一氏</b></p> 
<p>15:25~16:10</p>	<p><b>第21回JVA ノミネート者ショートスピーチ</b></p> <p>第21回JVAノミネート者が登壇し、自社の事業についてプレゼンテーションしました。</p> 

<p>16:10~16:15</p>	<p><b>主催者挨拶</b> 独立行政法人中小企業基盤整備機構 理事長 <b>豊永 厚志</b></p> <p>JVAは、優れた起業家や今後の活躍が期待されるベンチャーキャピタリストを表彰し、わが国のベンチャービジネスに対する関心を高め、チャレンジ精神を醸成していくことを目的としている。ベンチャー企業のSDGsへの貢献に対する期待も高まっていることから、SDGs特別賞を新たに設けた。コロナ禍が長期化する環境下にも関わらず多くの応募があった。JVAに参加された方々の中から、今後もすばらしい経営者が輩出されることを祈念している。</p> 
<p>16:15~17:05</p>	<p><b>表彰式</b> <span style="float: right;">〈プレゼンター〉</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□経済産業大臣賞 ..... 経済産業副大臣 <b>細田 健一氏</b></li> <li>□内閣府科学技術政策担当大臣賞 ..... 内閣府科学技術・イノベーション推進事務局長 <b>松尾 泰樹氏</b></li> <li>□中小企業庁長官賞 ..... 中小企業庁長官 <b>角野 然生氏</b></li> <li>□中小機構理事長賞 ..... 独立行政法人中小企業基盤整備機構 理事長 <b>豊永 厚志</b></li> <li>□SDGs特別賞 ..... 独立行政法人中小企業基盤整備機構 理事長 <b>豊永 厚志</b></li> <li>□JVA審査委員会特別賞 ..... 第21回JVA審査委員会委員長 <b>東出 浩教氏</b></li> <li>□ベンチャーキャピタリスト奨励賞 ..... 独立行政法人中小企業基盤整備機構 理事長 <b>豊永 厚志</b></li> <li>□JVCA特別奨励賞 ..... 一般社団法人日本ベンチャーキャピタル協会 会長 <b>中野 慎三氏</b></li> </ul> <p><b>来賓祝辞</b></p> <p>経済産業副大臣 <b>細田 健一氏</b></p> <p>日本の未来を明るくする鍵を握っているのがベンチャー企業である。日本のベンチャー企業がますます活躍できる環境を作ることが経済産業省の大きなミッションのひとつである。今ではグローバルに事業展開し、日本を代表する企業もかつてはベンチャー企業だった。今日ここで表彰された皆様は大きな可能性を持っていると思う。先人たちのを超えるインパクトのある成果を、ぜひ社会にもたらしていただきたい。我々も全力で応援する。</p> <p>内閣府科学技術・イノベーション推進事務局長 <b>松尾 泰樹氏</b></p> <p>科学技術によるイノベーションの推進を成長戦略の第一の柱に掲げる岸田政権において、イノベーションの重要な担い手であるスタートアップは極めて重要なものと位置付けられている。内閣府としては、革新性に優れた科学技術等を基に、研究開発を通じ、将来の社会や産業にイノベーションを起こす可能性を持つ経営者を表彰し、研究開発型ベンチャーの取組みが広く世の中に認知され、研究開発成果の社会実装が一層加速することを期待している。</p> <p><b>受賞スピーチ</b></p> <p>株式会社CureApp 代表取締役CEO 兼 医師 <b>佐竹 晃太氏</b></p> <p>「最初の開発を始めてから、数えきれないほどの苦労をチームメンバーたちが頑張って乗り越え、ヘルスケア業界にいる多くのステークホルダーに、日々応援とご指導をいただき、何とかここまで来ることができました。治療アプリが医薬品のように治療のスタンダードとなり、医療のインフラとして当たり前になることを目指して今後も邁進していきたいと考えております。」とスピーチされました。</p> <p>株式会社ALE 代表取締役/CEO <b>岡島 礼奈氏</b> (代理: CAO <b>長柄 奈々絵氏</b>)</p> <p>「このような賞をいただき身が引き締まる思いです。自分たちの事業を世界で展開することにより宇宙産業の拡大を目指して頑張っております。まだ発展途上である我々にとって大きな期待と応援のメッセージをいただけたと思っております。今後も波瀾万丈なことが起こるかと思いますが、本日このような賞をいただけたことを胸に刻み、乗り越えていこうと決意を新たにしております。」とスピーチされました。</p> <p><b>審査講評</b></p> <p>第21回JVA 審査委員会委員長 <b>東出 浩教氏</b></p> <p>「これからの社会を変えていける方々が、これだけ集まってくれたことを非常に嬉しく感じております。今回の今回の審査プロセスの中で、受賞者の方々は、こんな未来を創りたいという思いを持ち、現在とイメージする未来のギャップを、クリエイティビティで埋めていける人たちであると強く感じました。皆様には、世界で活躍するイノベティブなロールモデルになっていただけると信じております。」と講評されました。</p>
<p>17:05~17:50</p>	<p><b>クロージング・クロストーク</b></p> <p><b>急成長を成し遂げる起業家マインドとは？</b></p> <p>事業者向けのデジタル支援ツール「STORES」をはじめとしたサービスで急成長を遂げている、ヘイ株式会社を率いる佐藤氏が、事業を成功させるために必要なことについて、ビジネスメディアの担当者としてトークを展開しました。</p> <p>▶ヘイ株式会社 代表取締役社長 <b>佐藤 裕介氏</b></p> <p>▶株式会社日経BP 日経ビジネス副編集長 <b>原 隆氏</b></p> 



# 受賞者



## 第21回JVA 受賞者



### 経済産業大臣賞

佐竹 晃太 氏

株式会社CureApp  
代表取締役CEO 兼 医師



### 内閣府科学技術 政策担当大臣賞

岡島 礼奈 氏

株式会社ALE  
代表取締役/CEO



### 中小企業庁長官賞

島田 幸輝 氏

SyntheticGestalt株式会社  
代表取締役CEO



### 中小企業庁長官賞

杉江 理 氏

WHILL株式会社  
代表取締役社長 CEO



### 中小機構理事長賞

中野 剛人 氏

株式会社eWeLL  
代表取締役社長



### 中小機構理事長賞

平田 祐介 氏

Repro株式会社  
代表取締役



### SDGs特別賞

中西 智之 氏

株式会社T-ICU  
代表取締役社長



### JVA審査委員会特別賞

谷口 優 氏

株式会社TableCheck  
代表取締役社長CEO



### JVA審査委員会特別賞

平崎 誠司 氏

オリシロジェノミクス株式会社  
代表取締役



### JVA審査委員会特別賞

Gajan Mohanarajah 氏

代表取締役CEO



### JVCA特別奨励賞

奥原 啓輔 氏

プラチナバイオ株式会社  
代表取締役CEO



Arudchelvan Krishnamoorthy 氏

代表取締役CFO

ラピュタロボティクス株式会社

## ベンチャーキャピタリスト奨励賞



天野 雄介 氏

STRIVE  
代表パートナー/  
General Partner



曾我 悠平 氏

フェムトパートナーズ  
株式会社  
General Partner



藤井 淳史 氏

ジャフコ グループ  
株式会社  
パートナー



経済産業大臣賞

Kohta Satake

佐竹 晃太

株式会社CureApp  
代表取締役CEO 兼 医師

【会社所在地】〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町12-5 小伝馬町YSビル4階

【事業紹介】医療機器である疾患治療用アプリの開発を行う。2020年に国内初となるニコチン依存症治療アプリが薬事承認取得、保険収載された。現在対象疾患を拡大中。



【PROFILE】

1982年生まれ  
慶應義塾大学医学部卒業後、日本赤十字社医療センター等で呼吸器内科医として勤務。上海MBA留学後、米国ジョーンズ・ホプキンス大学公衆衛生大学院で医療情報科学を研究。帰国後、CureApp創業。  
2020年8月ニコチン依存症治療用アプリの薬事承認を世界で初めて取得。その他、東京大学・自治医科大学と生活習慣病領域の治療用アプリの研究開発を推進。アプリの開発をしながら、現在も診療を行う。

【創業年】2014年

医師のキャリアしかない中、本格的なソフトウェア開発、資金調達、学会活動、メンバー集めなど、初めてのことに取り組み沢山の壁にぶつかった。それでも「全ての人々が安心していつでも良質な医療を受けられること」というインフラとしての医療を日本が維持継続できるよう、強い思いを持って治療アプリ事業を進め2020年12月には国内初の保険適用を獲得した。今後も強い思いを持って、様々な領域で治療アプリ事業を進めていく。

【座右の銘】 人事を尽くして天命を待つ

会社の特徴

アプリで治療する未来を創造する

従来の医薬品やハードウェア医療機器では治療効果が不十分だった病気を治すために、医学的エビデンスに基づいた医療機器プログラム『治療アプリ』を開発しています。デジタル療法という新たな治療を診療現場に広く普及させ、一人でも多くの患者様に届けることを目指します。



▲日本初、医師が処方する治療アプリ

事業・サービスの強み

すべての人が安心して  
いつでも良質な医療を享受できる社会の実現

治療用アプリは医薬品と比較して開発コストが抑えられる一方、医薬品と同程度またはそれ以上の治療効果を得ることができるため費用対効果の高い治療が期待できます。さらに、多くの疾患に対しての治療用アプリの社会実装を通じて医療格差、医療費抑制、治療空白、医薬品質といった医療社会課題の解決にも寄与します。

ニコチン 依存症	CureApp 9C	薬事承認取得 2020年12月 日本初の治療用アプリとして上市	（保険納入取得済） DSCURE
禁煙	禁煙治療アプリ	現在、Ph3試験終了/2021年5月薬事申請	国立研究開発機関
認知症	NASH（脳アルツハイマー病）治療アプリ	現在、Ph2臨床試験実施中	国立研究開発機関
アルコール 依存症	アルコール依存症治療アプリ	現在、Ph2臨床試験実施中	国立研究開発機関
がん	がん患者生活支援治療アプリ	製品開発に向けて、第一三共と共同開発開始	第一三共株式会社

▲疾患領域とアカデミアとの連携

受賞ポイント

臨床医としての経験を活かし、専門医のノウハウを落とし込んだアルゴリズムが、医学的エビデンスに基づき、患者の状況に合わせ個別化された治療ガイダンスを適時に提供するアプリ（禁煙領域では世界初の薬事承認取得・保険収載）を開発・販売し、医薬品等に頼らないデジタル治療という分野で世界でも最前線を走り、医療格差の是正や医療費適正化等、社会に大きな変革をもたらそうとする姿勢が、起業家のロールモデルとして極めて高く評価された。



内閣府科学技術政策担当大臣賞

Lena Okajima

岡島 礼奈

株式会社ALE  
代表取締役/CEO

【会社所在地】〒105-0012 東京都港区芝大門2丁目11-8

【事業紹介】ALEは「宇宙エンターテインメント事業（Sky Canvas）」「大気データ事業」「宇宙デブリ対策事業」に取り組む民間宇宙スタートアップ企業です。



【PROFILE】

1979年生まれ  
東京大学大学院理学系研究科天文学専攻にて博士号（理学）を取得。卒業後、ゴールドマン・サックス証券へ入社。2009年から人工流れ星の研究を開始し、2011年9月に株式会社ALEを設立。現在、代表取締役/CEO。宇宙エンターテインメント、大気データの取得、宇宙デブリ対策装置の開発を通じ、科学と人類の持続的発展への貢献を目指す。

【創業年】2011年

2019年、経済産業省のJ-Startup企業に選出。  
2019年、外務省主催のG20大阪サミット「Japan Innovation Lounge」出展。  
2020年、第34回独創性を拓く先端技術大賞にて経済産業大臣賞を受賞。  
2020年、宇宙航空研究開発機構（JAXA）のJ-SPARCにおいて、宇宙デブリ対策デバイスの事業共同実証を開始。

【座右の銘】 宇宙を、好奇心に動かされた人類の、  
進化の舞台にする

会社の特徴

科学を社会につなぎ 宇宙を文化圏にする

ALEは青二才のような好奇心、宇宙空間というブルーオーシャンを文化圏に変える開拓者精神、人類のちっぽけさと可能性を忘れないPale Blue Dotの視点を大切に事業に取り組んでいます。オープンイノベーション体制であらゆるパートナーと協力・共創しながら、科学と人類の持続的な発展を目指しています。

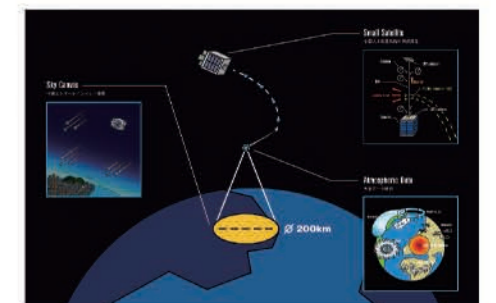


▲コーポレートビジュアル

事業・サービスの強み

世界初の人工流れ星で「エンタメ」と「科学」。  
宇宙開発の当事者としての環境作りを。

世界初の人工流れ星を2023年に実現する予定です。人工流れ星は空を彩るだけでなく、大気データを取得して気候変動の解明に寄与する事を目指しており、「エンタメ」と「科学」の両面で価値を創出します。新たな宇宙デブリの発生を予防する装置も開発中。軌道上環境を維持してサステナブルな宇宙産業の発展に貢献します。



▲ALEの取り組む3事業

受賞ポイント

基礎科学の研究資金を科学者自身が稼ぐことができれば、基礎科学がさらに発展するという考えのもと起業。世界に前例のない人工流れ星事業で、実際に人工衛星がロケットに搭載され、その打ち上げが成功していることや、ローレンツ力を利用した人工衛星の高度低下によるデブリ化防止事業（JAXAと連携）や、中層大気データの活用により精度を向上させた気象予報サービスの提供事業に取り組んでおり、起業家のロールモデルとして極めて高く評価された。



中小企業庁長官賞

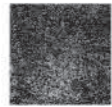
Koki Shimada

島田 幸輝

SyntheticGestalt株式会社  
代表取締役CEO

【会社所在地】〒160-0014 東京都新宿区内藤町1-6

【事業紹介】人工知能による科学的発明の量産を目指して、新薬の候補化合物の発見を行う機械学習モデルの開発を行っています。



SYNTHETICGESTALT

【PROFILE】

1989年生まれ  
京都大学経済学部卒、University College London MRes Modelling Biological Complexity 修了、University College London PhD in Computer Science 休学中  
SyntheticGestalt Ltd CEO, SyntheticGestalt KK 代表取締役CEO

【創業年】2018年

京都大学を卒業後、サイバーセキュリティ企業を創業し、CTOとして従事。当時開発したプロダクトは、20以上の大手企業に導入され、延べ3,200万以上のアカウントを保護してきた。その後、英国ロンドン大学にて機械学習によるタンパク質の機能予測研究を主導し、その研究成果をベースに、人工知能技術を用いて科学的発見を目指すSyntheticGestaltを設立した。

【座右の銘】 The best way to predict the future is to invent it.

文明発展の主役となる

新しい科学的発明をすることこそが人類全体のケイパビリティを拡大し、文明発展に寄与すると考えています。こうした新しい発明を、特別な才能を持った人間に依存することなく、自動システムにより考案できるようにすることで、安定的な文明発展を実現することを目指してこの会社を創業しました。

会社の特徴

自己組織化するプロフェッショナル集団

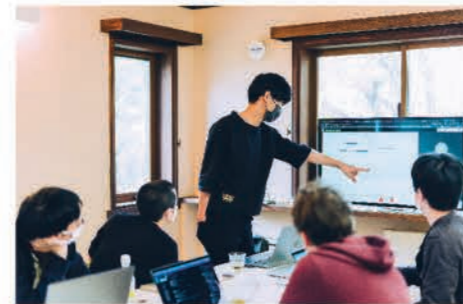
多様なバックグラウンドや専門知識を持ったプロフェッショナル達が国内外のトップ学府・企業から集まっています。それぞれの異なる発想を交わせながら、バイオニアとしての新しい一手を自己組織化させる環境が我々の特徴であり強さの源泉です。



事業・サービスの強み

従来を圧倒する速度と規模のAI創薬

我々の創薬システムは従来の創薬プロセスに比べ、かかるコストと時間を100分の1以下に抑えつつ、従来の4,000倍以上の種類の化合物からの探索を可能にします。同技術は著名国際学会での発表実績やウェット実験での検証実績があり、その技術をベースとした国内外の研究機関・企業との共同研究実績もあります。



受賞ポイント

AIによって社会に新しい価値を生み出したいという考えのもと、タンパク質の酵素機能予測モデルを活用したAI創薬システムにより、国内外の優秀なエンジニアとともに、創薬にかかるコストの大幅削減、開発期間の短縮化を実現し、医療費の削減に貢献することを目指す経営者の姿勢が評価された。



中小企業庁長官賞

Satoshi Sugie

杉江 理

WHILL株式会社  
代表取締役社長 CEO

【会社所在地】〒140-0002 東京都品川区東品川2丁目1-11 ハーバープレミアムビル 2F

【事業紹介】「すべての人の移動を楽しくスマートにする」をミッションに、最終目的地までのラストワンマイルをつなぐため、近距離移動のプラットフォームを作っています。



【PROFILE】

1982年生まれ  
静岡県浜松市出身。日産自動車入社後、一年間中国南京にて日本語教師として従事。その後2年間世界各地に滞在。2012年にWHILL社を創業。Silicon Valley Business Journal's 2017が選ぶ40歳以下の経営者40人の一人に選出。

【創業年】2012年

高齢化社会においてますます近距離移動の重要性が増えています。誰もが楽しくスマートに移動できる社会の実現に向け、一時・短期・日常のあらゆる利用シーンにおいて、歩行領域の移動サービスを世界中で展開しています。WHILLといえば楽しくスマートな歩行領域のモノとサービスを提供していると世界中の誰もが頭に思い浮かぶようにしたいと思っています。

【座右の銘】 Where there is a will(WHILL), there is a way

近距離移動を楽しくスマートに

WHILLは「すべての人の移動を楽しくスマートにする」というミッションを掲げています。飛行機、電車、車などの交通手段が提供できないラストワンマイルをつなぐ最後の1ピースとして、ハードとソフトの両輪で近距離移動のプラットフォームを提供し、社会のモビリティ課題解決を目指しています。

会社の特徴

ハードとソフトの双方から、  
グローバルでの近距離移動のエコシステムを構築

WHILL社は、先進的でデザイン性にも優れたモビリティ(ハードウェア)と、近距離移動をより楽しくスマートにするサービス(ソフトウェア)を開発・展開しています。これらを両輪に、あらゆる場所ですべての人が近距離移動のモノとサービスを安全に享受できるエコシステムを世界中で構築しています。



▲誰もが使いやすい製品とサービス

事業・サービスの強み

日常・非日常のあらゆる場面で  
近距離移動をよりスムーズにする価値を世界中で提供

日々の生活の移動手段、出先や旅先でのレンタル、施設内での自動運転モビリティの利用を通じ、すべてのシーンでスムーズな近距離移動を実現するモノとサービスを提供しています。現在は20以上の国と地域で事業を展開しており、世界中のさまざまな場所でWHILLが使われています。



▲世界中で使われているWHILL

受賞ポイント

車椅子ユーザーの外出に、物理的なハードルと心理的なバリアがあることを課題に感じ、ユーザー調査や試作を繰り返し、車椅子を障害者のものからパーソナルモビリティへと変革させた。さらにMaaS事業も展開し、すべての人が安心して出かける社会を実現しようとするミッションを掲げ事業運営を行う経営者の姿勢が評価された。



中小機構理事長賞

Norito Nakano

中野 剛人

株式会社eWeLL  
代表取締役社長

【会社所在地】〒541-0051 大阪府大阪市中央区備後町3丁目3-3 サンビル備後町9階

【事業紹介】訪問看護事業者向けにITを活用した業務支援サービスを展開。訪問看護専用電子カルテ「iBow」等の開発及び提供を行い、業務効率化とより良い在宅療養の実現を支援する。



<b>【PROFILE】</b> 1973年生まれ 大阪府枚方市出身。ジェットスキープロライダー（世界2位）、飲食店経営、介護ボランティアを経て現職。レース練習中の事故で9日間意識不明となった折に看護師に命を救われたのを機に、訪問看護師の業務を支援する事業を志し、2012年にeWeLLを設立。まだ世に無いものは自分たちの手で創る理念のもと、誰でも簡単に使える業務支援の訪問看護専用電子カルテ「iBow（アイボウ）」を開発し、業界シェアトップとなる。
<b>【創業年】</b> 2012年
アナログだった訪問看護業務のDXを実現し、訪問看護師の業務を効率化するとともに、これまで紙に手書きされていたため活用できていなかった慢性期医療情報を活用可能な形でデジタル化。勤怠管理や保険請求代行など、訪問看護に特化し現場に寄り添った革新的サービスを次々と展開中。
<b>【座右の銘】</b> 既に世にあるものは活用し、 まだ無いものは自分たちの手で創る

現場で本当に役に立つシステムを追求

当時、訪問看護の業務全般を支援するシステムが無く、膨大な書類を手書きしていた訪問看護師が、限られたリソースでより多くの患者をケアできるよう、ITで訪問看護業務を効率化しようと考えました。そのために、訪問看護の複雑な業務を網羅し、徹底的にUI・UXを追求して誰でも簡単に使える電子カルテを開発しました。

会社の特徴

挑戦を恐れず、  
イノベーションで在宅療養の現場を変革

私たちは「ひとを幸せにする」をミッションとして掲げ、全ての人々が安心して暮らせる社会を目指しています。そのために挑戦を恐れず、世の中にまだ無いものを創造し、在宅療養を支援する新しいシステムとサービスを追求して、医療従事者が本来の業務に集中できる環境をITを活用して提供し続けていきます。

事業・サービスの強み

訪問看護に寄り添い、  
共に成長する好循環なビジネスモデルで地域医療を支援する

『iBow』は基本料金と1訪問100円のサブスクリプションの料金です。これは、ITで訪問看護事業所の生産性を上げれば訪問件数と売上も伸び、私たちの利益も増えるWIN-WINなビジネスモデルです。私たちのサービスは全国47都道府県の訪問看護事業所で毎日実際に使われており、好循環を生み出しています。



▲ITとサービスで地域医療を支援



▲訪問看護専用電子カルテiBow

受賞ポイント

看護師に救われた経験から、看護師の役割の重要性と過酷な業務実態を認識し、拡大している訪問看護市場で役に立つサービスを提供しようと、訪問看護支援のITシステムを開発。日本公庫からの融資・マッチング支援を受け、大阪市（大阪イノベーションハブ）のシードアクセラレーションプログラムに参加している。黒字化を達成し、市場でも受け入れられている点が評価された。



中小機構理事長賞

Yusuke Hirata

平田 祐介

Repro株式会社  
代表取締役

【会社所在地】〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-36-4 全理連ビル4F

【事業紹介】企業と顧客の関係性を深めることを目的としたマーケティングツール「Repro」の開発・販売をしています。



<b>【PROFILE】</b> 1980年生まれ 東京都生まれ。 戦略コンサルタント出身のシリアルアントレプレナー。大手コンサルティングファームに入社後、経営戦略立案支援や成長支援業務に従事。2011年から複数の事業の立ち上げに関与したのち、2014年にReproを創業。
<b>【創業年】</b> 2014年
過去2回の起業の失敗を通じ、大きな志を持ち、諦めずにやり切ることの重要性を学びました。Reproでは「未来の志を創る」というミッションを実現するため、ダイバーシティに富んだ多数のプロフェッショナルと共に世界で最も価値を提供するマーケティングソリューションカンパニーを作り、日本社会に貢献したいと考えています。
<b>【座右の銘】</b> 商売は世の為、人の為の奉仕にして、 利益はその当然の報酬なり

世界へ躍進し、未来の志を創る

今の日本のビジネス界には、次世代の「夢を現実的な目標に変化させるきっかけ」が必要だと考えています。当社は、日本から世界へ躍進したIT企業の先駆者になるという目標を掲げています。後に続く世代にグローバルで戦うための道を創り、勇気と目標を与え未来への志を創り出すこと。それが私達の責務です。

会社の特徴

当事者意識と責任感が作り出す  
クライアントファーストの精神

クライアントの成長へのコミットメントが自己の成長に繋がるという価値観を持ったメンバーで構成されているのが特徴です。常にクライアントの先にいる消費者を意識し、どのようなコミュニケーションが両者の関係性を深めるのかを考え、ソリューションを提供しています。

事業・サービスの強み

ツールベンダーの域を超えた  
マーケティングパートナー

優れたマーケティングツールが提供できても、使いこなせる人材がいなければ、事業を成長させることができません。IT人材の不足が叫ばれる中、当社は「ツールの力」に加え、伴走しながら支援する「人の力」を提供することでクライアントのビジネスを成長させることにコミットメントしています。



▲当社を支える開発者たち



▲導入企業の皆様とカスタマーサクセス

受賞ポイント

2度の起業での失敗を乗り越え、企業から消費者への情報提供（メールやプッシュ通知、webやアプリ内で表示されるコンテンツ）について、顧客データとAIによる分析の活用により、顧客ひとり一人に最適なタイミング・内容・媒体での表示・配信を可能にするデジタルツールを開発。日本公庫、商工中金からの融資・マッチング支援を受けており、圧倒的な市場シェアを誇る成長を遂げている点が評価された。





## SDGs特別賞

Tomoyuki Nakanishi

# 中西 智之

株式会社T-ICU  
代表取締役社長

【会社所在地】〒651-0085 兵庫県神戸市中央区八幡通3丁目 2-5 IN東洋ビル605

### 【事業紹介】

1. 遠隔での救急・集中治療に関連するサービスおよびシステムの提供
2. 救急・集中治療に関するスタッフトレーニング
3. 病院におけるコンサルテーション



### 【PROFILE】

1976年生まれ  
 2001年 京都府立医科大学 医学部 卒業  
 2003年 熊本赤十字病院 心臓血管外科  
 2009年 武蔵野赤十字病院 救急救命センター  
 2019年 聖マリアンナ医科大学 非常勤講師(救急医学)  
 2019年 東京女子医科大学 非常勤講師  
 2021年 東京医科歯科大学 客員准教授  
 2021年 Marine city medical college&Hospital 国際客員准教授

### 【創業年】2016年

すぐに行動に移すのがとれ、よく言えば積極的。悪く言えば思慮が足りない。そのような性格により、15年間医師としての経験しかなかったが、起業することになった。起業を振り返っての感想をよくインタビューされるが、「起業後に実際に経験した大変さが事前に分かっていたら、起業しなかった」と素直に認めつつも、良い経験をさせてもらっていると、いろいろな方への感謝の気持ちも忘れていない。

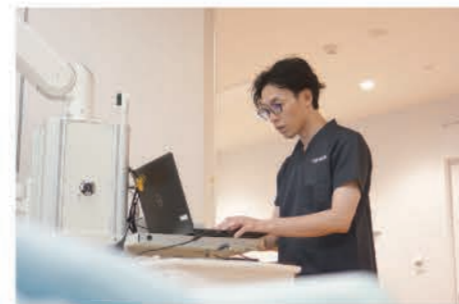
### 【座右の銘】気にしない

## すべての病院に集中治療医を

私は、心臓血管外科、麻酔科、救急・集中治療におよそ20年関わる中で、様々な診療科の医師とともに診療し、それぞれの診療科の医師のスキル、知識の深さを感じてきました。私も集中治療・救急科専門医として患者様や現場の医療スタッフの力になりたいと考え、遠隔ICUをメインとした会社を立ち上げました。



▲2021年10月で創立5周年を迎えました



▲メディカルチームによるサポート

### 会社の特徴

Anywhere, we care.  
世界中の人々に、最高の医療を

集中治療医・集中ケア認定看護師のチームを擁し、病院向けに専門性の高いサポートを提供する日本で唯一の事業会社です。遠隔ICUを通じて医療のIT化を促進し、効率化を図ることで、地域間・病院間の診療レベルの格差を改善し、医療のDXを実現します。

### 事業・サービスの強み

「集中治療医」と「集中ケア・救急認定看護師」が、遠隔で相談にお答えします。

遠隔相談システム『リリーヴ』は、全国的に専門家が不足する重症患者診療の現場を集中治療医・集中ケア認定看護師等で構成されたメディカルチームが24時間365日サポートします。また、離れた場所から患者と医療者に寄り添うことをコンセプトにした、遠隔モニタリングシステム『クロスバイ』を提供しています。

### 受賞ポイント

集中治療専門医として大規模病院の救命センターに勤務中、大規模病院と中小規模病院の専門医の数の差が救命率や入院期間に影響していることを肌で感じ、この課題を解決するため、集中治療専門医としてのノウハウやネットワークを活用し、専門医が不足している集中治療室への遠隔アドバイスシステムを提供、SDGsの「3.すべての人に健康と福祉を」のゴールに貢献している点が評価された。



## JVA審査委員会特別賞

Yu Taniguchi

# 谷口 優

株式会社TableCheck  
代表取締役社長CEO

【会社所在地】〒104-0061 東京都中央区銀座2-14-5

【事業紹介】飲食店向け予約・顧客管理システムの開発・提供を行う日本発レストランテック企業。海外6カ国に展開し、そのサービスは26カ国・地域のレストランで利用されている。



### 【PROFILE】

1984年生まれ  
 神奈川県生まれ。幼少期の約10年間をシンガポールで過ごす。国際的な統合決済管理プラットフォーム企業で、営業・リーガル・経営企画などさまざまな業務に携わる。2011年3月、株式会社VESPER(現・株式会社TableCheck)を創業し、CEOに就任。飲食店向け予約・顧客管理システムを国内外26カ国・地域の約6,200店舗に提供し、グローバル展開を進めている。

### 【創業年】2011年

「High-Growth Companies Asia Pacific 500」(FT紙)に選出されるなど、グローバルに高い評価を受けています。コロナ禍でも最高売上を更新し続けるなど、国内外のトップブランドからも高い信頼と支持を得る業界のリーディングカンパニー。「自動化」「最適化」をキーワードに、独自のビッグデータとテクノロジーで、飲食業界に革新をもたらす前例のないプラットフォームを構築しています。

### 【座右の銘】為せば成る、為さねば成らぬ何事も、成らぬは人の為さぬなりけり。

## 世界を席巻する 日本発テックカンパニーへ

世界に通用するテックカンパニーをつくりたいと思い、創業しました。また、世界に誇れる日本の食文化の魅力をあらゆる国・地域の人々に届けるお手伝いをしたい、という考えがレストランテックで起業した大きな理由の一つです。今後の日本の企業が世界で同等以上に戦っていけるよう、見本とされる企業を目指しています。

### 会社の特徴

グローバル水準の前例のないイノベーションを起こす  
日本発レストランプラットフォーム

世界各国から優秀なスタッフが集まり、業界のイノベーターとしてマーケットをリード。海外6カ国に展開、26カ国・地域でサービスが利用されており、グローバル展開を成功させている数少ない日本発SaaS企業です。グローバルホテルチェーンが国内ベンダーの中で唯一採用するなど、国内外から高い信頼を得ています。

### 事業・サービスの強み

DINING CONNECTED  
世界中のレストランとカスタマーをつなぐ架け橋

独自のビッグデータ、テクノロジーで、消費者とレストラン双方のレストラン体験に革新をもたらします。レストランに対しては、予約・顧客管理からマーケティングや経営判断までを、消費者に対しては、お店探しから予約、決済までを、自動的かつ最適に提供することで、双方にとって最高のレストラン体験を実現します。



▲代表・谷口とCTO・Shields



▲26カ国地域のレストランが利用

### 受賞ポイント

クレジットカード会社で勤務していた際、宿の予約がネットに切り替わる様子を目の当たりにし、この波は飲食店にも広がりを感じ起業。飲食店の予約・顧客管理クラウドシステムと蓄積されたデータを活用したデータプラットフォームを提供、海外を視野に入れて事業展開している点が評価された。



### JVA審査委員会特別賞

Seiji Hirasaki

## 平崎 誠司

オリシロジェノミクス株式会社  
代表取締役

【会社所在地】〒113-8485 東京都文京区本郷七丁目3番1号

【事業紹介】合成生物学産業の可能性を解き放つセルフリー（無細胞系）による長鎖DNA合成技術を基とした事業を行っています。



#### 【PROFILE】

1964年生まれ  
日本経済新聞社で産業・科学技術分野の記者からキャリアをスタートし、2002年に遺伝子治療を開発するバイオ企業(アンジェス)に入社し事業開発などを担当。2017年3月から2019年3月まで取締役として経営全般に従事しました。その後当社を共同創業し、2019年4月から当社の代表取締役として活動を行っています。

#### 【創業年】2018年

一貫して「科学と経済社会との関係」に関心を持ち、その軸に沿って仕事をしてきました。当社のような技術型の大学発ベンチャーは科学の成果を直接に産業化する現場であり、その最前線に立てることは、社会的意義の高い活動に従事しながら自身の興味も満たすことができるという点で非常に幸運なことであると思っています。

#### 【座右の銘】特になし

### 舞台はグローバル

## 画期的技術で世界を変える

画期的なDNA技術の提供を通し、合成生物学産業の世界的なリーディング企業となることを目指して創業しました。ゲノムDNAを改変・合成して有用物質・微生物を作り出す合成生物学は、従来のゲノム解読に続く新たな研究開発の潮流として世界的に急展開しており、日本発の技術を世界に届けたいと考えています。

### 会社の特徴

#### 技術を早くお客様に届けることで、 会社も早く成長する

大学発のバイオベンチャー企業では技術の製品化までに長い期間かかるのが一般的ですが、当社は事業開始から1年あまりで最初の製品の発売に漕ぎ着けました。開発フェーズからできるだけ早く成長フェーズに移ることを目指しており、実行しつづけます。当初から世界市場を目指していることも大きな特徴です。

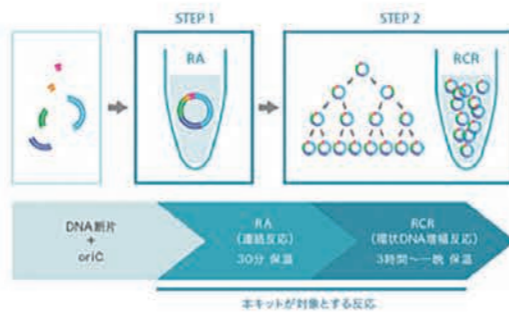
### 事業・サービスの強み

#### 無細胞DNA合成技術で バイオの研究開発や生産に革命を起こす

当社は細胞を使わずに（無細胞系で）長いDNAを合成するという世界初の技術を基盤として事業を行っております。これらの技術を研究試薬として販売をする他、DNAの構築サービスを提供しており、今後は創薬基盤をはじめとするヘルスケアに加え、農業、環境など幅広い産業分野での応用を計画しています。



▲事業開始から1年余りで製品発売



▲DNA合成の新標準をもたらす

#### 受賞ポイント

早期に売上をたてるのが難しいバイオ分野において、様々なネットワークを活用して優秀な人材を確保し、品質管理した上で事業開始から1年余りで国内外に試薬キットを販売している点、技術的に独創性・優位性が高い点が評価された。



### JVA審査委員会特別賞

モーハナラージャ・ガジャン

## Gajan Mohanarajah

代表取締役CEO

クリシナムルティ・アルドチェルワン(アルル)

## Arudchelvan Krishnamoorthy

代表取締役CFO

ラピュタロボティクス株式会社

【会社所在地】〒135-0023 東京都江東区平野四丁目10番5号

【事業紹介】ロボット導入を促進させるための共通基盤「クラウドロボティクス・プラットフォーム」を開発。当該プラットフォームを活用したロボティクスソリューションも提供する。



#### 【PROFILE】

【ガジャン】1980年生まれ  
最終学歴：チューリッヒ工科大学工学科 博士課程修了(2014年)  
2014年 ラピュタロボティクス株式会社設立、代表取締役CEO 就任

【アルル】1984年生まれ  
最終学歴：コロンビア大学経済学 修士課程修了(2010年)  
野村證券、FUND OF TOKYOにて活躍  
2014年 ラピュタロボティクス株式会社設立、代表取締役CFO 就任

#### 【創業年】2014年

スリランカ出身のガジャンとアルルは2000年に文部科学省の奨学金で来日し、東京工業大学でシステム制御を学んだ後、ガジャンはチューリッヒ工科大学で博士号を取得、アルルはコロンビア大学で経済学を専攻。その後2人は再会し、ロボット活用社会を創るためには、ロボット制御のための共通基盤が必要だと信じ、起業。今後、ビジネスの成功及びIPOを果たし、日本における外国人起業家のロールモデルとなることを目指す。

#### 【座右の銘】To leave the world a bit better

### 会社の特徴

#### 世界最高峰の技術を提供するために結集した 多国籍チーム（出身国20か国以上）

当社は、チューリッヒ工科大学からスピンオフしたベンチャー企業です。ロボティクスは、共通規格やプラットフォームがなく、非常に分断された産業であり、自動化率の低さが課題です。当社は公用語を英語にし、世界中から優秀なエンジニアを集め、世界最高峰の知見と技術力によって、ロボット制御の共通基盤を開発しました。

### 事業・サービスの強み

#### 自動化のためのプラットフォームと ロボティクスソリューションの提供

当社のプラットフォーム「rapyuta.io」は、AI駆動型で多種・複数台のロボットを制御します。また、ピッキングアシストロボット「ラピュタPA-AMR」も開発し、既に大手物流企業の倉庫内で実稼働、生産性2倍向上の実績があります。顧客の既存資産を活かした自動化を進め、低い初期投資でDXを実現します。

#### 受賞ポイント

スリランカ出身の代表者2人が、留学した日本で起業。起業時からお互いに支え合いながら、3K(きつい、汚い、危険)の現場の仕事にロボットが代替するためのロボティクスプラットフォームを開発、その技術力の高さが評価された。

## ロボットを繋げ、 人々の生活を豊かにする！

ロボットと協働することで、3K(きつい・汚い・危険)な仕事からヒトのリソースを開放し、ヒトがより知的で高度な課題に取り組める社会を創りたいと考えています。個別に開発・制御されたロボットを共通基盤によって制御し、多種・複数台のロボットの協調制御を実現させ、作業効率化・自動化・DXに貢献します。



▲最上志向でエネルギッシュな仲間



▲rapyuta.ioの概要



JVCA特別奨励賞

Keisuke Okuhara

奥原 啓輔

プラチナバイオ株式会社  
代表取締役CEO

【会社所在地】〒739-0046 広島県東広島市鏡山三丁目10番23号

【事業紹介】産業利用に最適なゲノム編集技術「Platinum TALEN」とデジタル技術を融合し、事業パートナーの方々と革新的なプロダクト・サービスを提供します。



【PROFILE】

1977年生まれ  
大阪生まれ、奈良育ち。バイオ研究者を志し大学院に進学するも挫折。研究者の道を断念し、科学技術振興機構(JST)に入構。数々の産学連携プロジェクトに携わった後、内閣官房・NBDC・東広島市を経て、2016年に広島大学・産学連携部門に着任。ゲノム編集のトップランナー・山本卓と共に、OPERA「ゲノム編集」産学共創コンソーシアムを構築・運営。2019年8月、「プラチナバイオ株式会社」を共同創業。

【創業年】2019年

産学共創プロジェクトのマネジメント業務に取り組む中で、研究成果の社会実装を加速する大学発ベンチャーの必要性を痛感し、文部科学省EDGEプログラム、JST社会還元加速プログラム(SCORE)、東京都Blockbuster TOKYOを通じて起業家となる。第25回ひろしまベンチャー助成金「ひろしまベンチャー育成賞・金賞」受賞。

【座右の銘】共創

大学の研究成果を社会実装する、担い手に。

大学で培われてきた研究成果を世の中に出し、社会に役立てていくために最も重要なことは、「研究者と企業という、異なる立場のものの想いを汲み取り、理解し合える環境を整えること」だと考えています。その担い手となり、ゲノム編集技術を使って新しい価値を創造し、科学技術の価値を高めるのに貢献したいと考えています。



▲「低アレルギー卵」の研究風景



▲ゲノム編集による新たな価値創造

会社の特徴

ゲノム編集でしか実現できなかった、新しい価値を。

産業利用に最適な「ゲノム編集技術」と、最先端デジタル技術「バイオDX」を駆使して、これまで実現できなかった、新しい価値を創出します。例えば、これまでの「ゲノム編集」産学共創コンソーシアムの取組みから生まれた大学の研究成果「低アレルギー卵」。食物アレルギーでも困らない未来に向けて、事業化を推進します。

事業・サービスの強み

オールジャパンの産学共創により、人類が直面する様々な社会課題を解決する。

オールジャパンの産学共創により、ゲノム編集とバイオDX技術の社会実装を加速させ、「SDGs 2番: 飢餓をゼロに」、「SDGs 3番: すべての人に健康と福祉を」、「SDGs 7番: エネルギーをみんなにそしてクリーンに」や「SDGs 9番: 産業と技術革新の基盤をつくろう」の達成に貢献します。

受賞ポイント

研究シーズと、それをビジネス化することのギャップに課題を感じていたことを契機として起業。高い技術力と市場の大きさに加え、プロダクト競争で海外とも勝負しようという大きなビジョンを掲げている点が評価された。



Yusuke Amano

天野 雄介

STRIVE 代表パートナー/General Partner

【会社所在地】〒107-0052 東京都港区赤坂1丁目12番32号アーク森ビル3階

【PROFILE】

2014年にVCファンド(現STRIVE)を創業以来、これまでに日本及びアジアのスタートアップ向けに3つのファンドを運用し、累積評価額は約400億円に相当する。STRIVE創業以前は、グリー株式会社にて経営企画、海外事業やCVC事業等を担当。それ以前は、ドイツ証券会社やリーマンブラザーズ証券会社等の投資銀行にてM&Aや資金調達、海外のプライベートエクイティファンドにてバイアウト投資を経験。

【活動概要】

「起業家と同じ舟に乗り、共に立ち向かい、共に汗をかく」をスローガンに、従来の投資家の常識からはみ出し、あらゆる面からスタートアップの成長を支援。今後も、時代を拓く起業家の野心をスケールするために、どこよりも高い目線で成功へと導く投資家を目指す。

【代表的な支援先企業】

ウェルスナビ株式会社、株式会社ココベリ、ラクスル株式会社、ランサーズ株式会社 等



受賞ポイント

直近1年間の代表的な上場企業のひとつである、ウェルスナビ株式会社への支援では、機関投資家比率を高める努力がIPOに寄与、また、SDGsやESGを意識した投資活動を行っている点が評価された。

ベンチャーキャピタリスト奨励賞



Yuhei Soga

曾我 悠平

フェムトパートナーズ株式会社 General Partner

【会社所在地】〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-67 コスモス青山SOUTH棟506

【PROFILE】

2002年、新生銀行入行。2004年からベンチャー投資業務に従事。2009年、東証一部上場企業関連会社にて投資、アドバイザー業務。2012年、新生銀行プライベートエクイティ部、2013年よりフェムトグループキャピタルでの投資を開始。2017年、当社設立、ゼネラルパートナー就任。中央大学法学部卒、同大学大学院法学研究科博士前期課程修了。

【活動概要】

目線の高い経営者、将来性に期待できる市場に取り組むIT系を中心とするシード・アーリーステージのスタートアップに対して、潜在力を開花させる資金調達や資本政策をアドバイスし、事業開発に集中できる大型投資を実行。次ラウンド以降の資金調達支援やフォロー投資を行い、大型企業に成長するための総合的な支援を行う。

【代表的な支援先企業】

ブレイド、note、トレタ、ルームクリップ、クラウドクレジット、スタディプラス、Dr.JOY、ウェルモ、スカイマティクス



受賞ポイント

直近1年間の代表的な上場企業のひとつである、株式会社ブレイドへの支援等、長いキャピタリストとしての経験を通じて、アーリーステージから継続的にハンズオン支援を行っている点が評価された。

ベンチャーキャピタリスト奨励賞



Atsushi Fujii

藤井 淳史

ジャフコ グループ株式会社 パートナー

【会社所在地】〒105-6324 東京都港区虎ノ門1-23-1虎ノ門ヒルズ森タワー24階

【PROFILE】

2003年に新卒で(株)ジャフコ(現ジャフコ グループ(株))に入社。入社後は一貫してベンチャー投資に従事。IT領域を中心に製造・流通・サービス業まで幅広い分野で投資を実行。2000年代はミドルステージの企業への投資を中心に、2010年以降は、会社設立時から投資したルクサ(2015年にKDDIに売却)をはじめ、事業の立ち上げ初期から関与してきた。

【活動概要】

ジャフコ グループ入社後、18年間に渡り投資先のソーシングからExitまで担当。投資先の資金調達、顧客開拓、人材採用、会計・法務・労務・税務等に関する設計等、事業上の各種施策に踏み込み経営に関与。経営陣だけではなく、実務担当者とも課題に取り組んできた。これまでにIPO8社、M&A6社を担当。

【代表的な支援先企業】

ビジョナル、コプラ、メドピア、日本環境設計、Kyash、LegalForce、エアークローゼット等



受賞ポイント

直近1年間の代表的な上場企業のひとつである、ビジョナル株式会社への支援では、十分な時間をかけて海外投資家を呼び込みIPOに貢献、長いキャピタリスト経験を通じて、社会性も意識した事業開発の実績が評価された。

中小機構は、経済産業省所管の中小企業政策全般にわたる総合的な実施機関として、成長ステージに合わせた多様な支援で中小企業の成長を応援しています。

ファンド出資で  
資金調達を支援

中小機構は、ベンチャー・中小企業を対象に投資を行うファンドに出資者の立場で資金提供することにより、様々なステージの企業に資金調達の機会を提供しています。

事業展開を加速させる、  
インキュベーション施設

全国29か所で、実験・研究開発にも対応した賃貸ラボを提供している「インキュベーション施設」。常駐するインキュベーションマネージャーが、新事業の事業化をサポートします。

ネットで、効果的な  
販路拡大をサポート

大手企業とのマッチングサイト「J-GoodTech」、中小企業向け公的調達のサポートサイト「ここから調達」、無料EC講座「ebiz」など、海外展開やeコマースをつかった販路開拓を後押しします。

起業、創業時の  
ビジネス創発をサポート

創業に関する様々なイベントやワークショップをオンライン等で提供する「TIP\*S」、中小企業大学校東京校内（東大和市）に設けた創業支援施設「BusiNest」などを通じて新ビジネスの創発をサポートします。

「いつか」に備えた  
共済制度

小規模事業者や個人事業主が使える廃業時の退職金制度「小規模企業共済」と、取引先の倒産時に備えた「経営セーフティ共済」を運営しています。かしく節税しながら「いつか」にそなえた準備ができる制度です。

ベンチャー、中小企業を  
サポートする豊富なメニュー

起業事例や補助金の情報提供サイト「J-Net21」、電話・メール・対面でできる無料の経営相談、全国で経営上のあらゆる相談に対応する「よろず支援拠点」など、ベンチャー・中小企業をサポートするためのさまざまなメニューを展開しています。

JVA事業の主旨にご賛同いただきました協力機関を紹介します。



EY新日本有限責任監査法人

EY新日本有限責任監査法人は、監査および保証業務、アドバイザリーサービス、税務などの分野における世界的なリーダーであるEYのメンバーファームです。全国に拠点を持つ日本最大級の監査法人であり、監査および保証業務はもとより、各種アドバイザリー分野においてクライアントの課題解決と成長を支援しています。これらのサービスを通じて資本市場および社会の健全な発展に貢献することで、より良い社会の構築を目指します。



有限責任 あずさ監査法人

KPMG/あずさ監査法人は、監査やアドバイザリーなどの専門性の高いサービスの提供を通じて、経済社会に信頼をもち、企業や社会の変革に向けた取組みを支援しています。IPOの分野においては、豊富な経験を持つ専門家を配置し、海外ネットワークを含めた情報・知識の蓄積を行うとともに、一元的なサービスを提供しています。また、社会価値が創造されると考えられる新しい革新的な技術やアイデアを有する企業及び起業家を発掘・育成・支援することを目的としてインキュベーション部を設置し、大学発ベンチャー企業及び産学連携組織を中心にインキュベーション支援活動を行っています。



DRIVE(運営:NPO法人ETIC.)

未来の兆しを示すアイデアやトレンド、起業家インタビューなど未来を創る動きを後押しするコンテンツを発信。スタートアップやソーシャルセクター、また地域の魅力的な企業でのチャレンジングな求人情報やインターン募集も充実。



INNOVATION LEADERS SUMMIT(運営:株式会社プロジェクトニッポン)

大手企業のアセットとスタートアップのアイデアやテクノロジーをマッチングし、グローバルイノベーションを生み出すことを目的に経済産業省後援のもと発足。2019年10月に開催した第7回ILSにおいて、メインの事業提携マッチングプログラム「パワーマッチング」は、国内外の主力VCなどで構成する100人のILSアドバイザリーボードが推薦するスタートアップ582社と大手企業115社(166部署)が参加、3日間で2,434件の商談が行われた。アジア最大級のオープンイノベーションカンファレンス。



日刊工業新聞社

日本のモノづくりを見つめ、伝え続けて一世紀。創業の理念「工業立国」「技術立国」を胸に一貫して日本の産業界とともに歩み、日本の科学技術の発展や産業競争力の強化、中小企業振興に努めてまいりました。新聞を核に産業総合情報機関としての機能をさらに高め、創業・ベンチャー促進をはじめ、活力と創造力あふれる次世代の産業社会づくりに貢献していきます。



アントレサロン(運営:銀座セカンドライフ株式会社)

銀座セカンドライフは、創業から10年、これまで延べ7,000人の方の起業を支援してきました。当社は、お客様が“セカンドライフ”で手掛ける事業がスムーズに軌道に乗れるよう、無料起業相談・事務サポート、毎月3,4回開催している異業種交流会でのビジネスマッチング、さらに、首都圏を中心にレンタルオフィス「アントレサロン」運営をしています。特にアントレサロンは、9拠点13店舗あり、使い勝手の良さから、会員は現在約7,000社を超えています。これからも、一人ひとりのお客様に、信頼され、親しまれる会社を目指しています。



日本スタートアップ支援協会

1. 70名の上場企業の経営者がメンタリングで経営課題の解決と企業価値の最大化を実現します。
2. 協会顧問のエンジェル、VC、事業会社、銀行からの最短最速での資金調達を実現させます。
3. スポンサーや顧問企業からトランプラインにつながる上場企業を随時紹介します。



月刊事業構想

月刊事業構想は、事業構想大学院大学出版部が発行する雑誌&オンラインメディア。新事業開発、イノベーション、地方創生を主テーマとしています。地方自治体首長と幹部に圧倒的な読者率があるほか、企業の新規事業開発責任者が読者の過半を占めます。特に、企業トップ、起業家、政治家、官僚といったキーパーソンの構想と具体的な事例に焦点を当てた記事が充実しています。また、デザイナー、アスリート、芸術家、クリエイターなど異分野の構想家もとりあげ、多様な視点を提供しています。イノベーションへのアイデア、アライアンス・パートナーの開発などの情報源となっています。



特定非営利活動法人インデペンデンツクラブ

- “一人でも多くの人と一緒に、1社でも多くの公開会社を育てる”
- 1.ベンチャー企業支援育成のための各種イベント運営・企画 — 起業家による「事業計画発表会」の運営企画
  - 2.ベンチャー企業支援育成のための広報事業
  - 3.ベンチャー企業支援育成に関する各種調査・研究・情報提供事業
  - 4.その他目的を達成するために必要な事業



JMA GARAGE

JMA GARAGEとは“イノベーション創出のヒント”を提供する場です。一般社団法人日本能率協会(JMA)がこれまで培ってきたイノベーションや新たなムーブメント創出に関する取組や情報を発信する場です。イベント開催、調査レポート掲載、コラム作成、専門家インタビューなどを通して、企業のイノベーション創出を支援し続けます。



イノベーションズアイ

イノベーションズアイは、挑戦し続ける企業・起業家・ビジネスパーソンを応援するBtoBビジネスメディアです。元気で活力ある企業を「発掘」し、メディアから「発信」し、ビジネスネットワークで企業の「発展」につなげます。【会員登録数:1.3万超、連携パートナー数:80社超】